

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 1 月 14 日 (2021.1.14)

【公表番号】特表 2018-522875 (P2018-522875A)

【公表日】平成 30 年 8 月 16 日 (2018.8.16)

【年通号数】公開・登録公報 2018-031

【出願番号】特願 2017-568131 (P2017-568131)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/235	(2006.01)
A 6 1 Q	19/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/06	(2006.01)
A 6 1 P	17/02	(2006.01)
A 6 1 P	17/10	(2006.01)
A 6 1 P	17/04	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/08	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/02	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	19/06	(2006.01)
A 6 1 K	31/192	(2006.01)
A 6 1 K	9/06	(2006.01)
A 6 1 P	3/10	(2006.01)
A 6 1 K	8/368	(2006.01)
A 6 1 Q	19/08	(2006.01)
A 6 1 K	8/37	(2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K	31/235	
A 6 1 Q	19/00	
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 P	17/06	
A 6 1 P	17/02	
A 6 1 P	17/10	
A 6 1 P	17/04	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	37/08	
A 6 1 P	43/00	1 0 5
A 6 1 P	25/02	1 0 1
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	19/06	
A 6 1 K	31/192	
A 6 1 K	9/06	
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 K	8/368	
A 6 1 Q	19/08	
A 6 1 K	8/37	

【誤訳訂正書】

【提出日】令和2年11月26日(2020.11.26)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0073

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0073】

【表 4】

表 4

軟膏					
製剤	0x (好ましい 範囲)	01	02	03	04
成分 (機能)	% (w/w)	% (w/w)	% (w/w)	% (w/w)	% (w/w)
微粒化ジアセレイン (有効成分)	0 から 10	－	1.00	－	1.00
ジアセレイン (有効成分)	0 から 10	1.00	－	1.00	－
白色ワセリン (軟膏基剤)	15 から 99	74.00	82.00	82.00	84.5
鉱油 (軟膏基剤改良剤)	0 から 60	25.00	16.00	16.00	12.00
セチルアルコール (界面活性剤)	0 から 10	－	0.50	0.50	2.00
エチルパラベン (防腐剤)	0 から 2.5	－	0.50	0.50	0.50
合計	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
ジアセレイン粒子径 (Dv90)	0.5 から 35 μm	不入手	混合前 : 2.66 μm 混合後 : 4.2 μm	混合前 : 14.15 μm 混合後 : 20 μm	不入手

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ジアセレイン、レイン、モノアセチルレインおよびそれらの塩またはエステルまたはプロドラッグから成る群より選択される化合物の治療有効量、ならびに1つ以上の医薬として許容される賦形剤を含有する局所医薬組成物であって、前記組成物が、軟膏の形態であり、前記化合物の少なくとも約90体積%が、約0.5から約35 μmの粒子径を有し、前記組成物が、組成物全体の重量に基づいて、約0.1重量%から約10重量%の前記化合物、約15重量%から約99重量%の白色ワセリン、約0重量%から約60重量%の鉱油、および約0%から約10%重量%のセチルアルコールを含む、前記局所医薬組成物。

【請求項 2】

前記化合物の少なくとも約 90 体積%が、約 10 から約 30 μm の粒子径を有する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記化合物の少なくとも約 90 体積%が、約 12 から約 25 μm の粒子径を有する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

アトピー性皮膚炎、乾癬、嚢胞性乾癬、酒さ、ケロイド、過形成性瘢痕、ざ瘡、ネザートン症候群、または結節性痒疹を含む他の掻痒性皮膚病から選択される炎症性および/または過剰増殖性および掻痒性皮膚疾患、高齢者の不特定のかゆみ、ならびに老化皮膚および表皮水疱症を含む表皮バリア機能障害を伴う疾患の処置における使用のための、請求項 1 に記載の組成物であって、当該処置が、処置を必要とする被験体に、請求項 1 に記載の組成物の有効量を投与することを含む、前記組成物。

【請求項 5】

表皮水疱症の処置における使用のための、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 6】

前記化合物が、前記組成物全体の約 0.1 重量%から 5.0 重量%の量で存在する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 7】

前記化合物が、前記組成物全体の約 0.5 重量%から約 2.0 重量%の量で存在する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 8】

1 日 1 回組成物または 1 日 2 回組成物である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 9】

組成物全体の重量に基づいて、約 1 重量%の前記化合物、約 82 重量%から約 84.5 重量%の白色ワセリン、約 12 重量%から約 16 重量%の鉱油、および約 0.5%から約 2.0%重量%のセチルアルコールを含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 10】

炎症性および/または過剰増殖性および掻痒性の皮膚疾患、ならびに表皮バリア機能障害を伴う疾患の処置のための医薬の製造における、請求項 1 に記載の組成物の使用であって、当該処置において、処置を必要とする被験体に、当該組成物の有効量が投与される、前記使用。

【請求項 11】

前記表皮バリア機能障害を伴う疾患が、老化皮膚および表皮水疱症を含む、請求項 10 に記載の使用。